

建設部門DX推進行動計画2030（概要版）

1 策定趣旨

「あいちDX推進プラン2030」及び「あいち社会資本整備方針2030」を踏まえ、建設部門におけるデジタル化・DXを推進するために策定する。

「あいちDX推進プラン2030」の体系（3つの視点と4つの柱）

デジタル技術の利活用により産業と地域の活力を支え、行政サービスを進化させるとともに、誰もが恩恵を受けるデジタル社会の推進に取り組む。

デジタルファースト

サービスデザイン

デジタルリテラシー

産業競争力の強化

地域社会の課題の解決

行政サービスの利便性の向上等

人材の育成及び活用等

22の主要取組事項

進捗管理指標（数値目標）

「あいち社会資本整備方針2030」テーマと取組改善

<理念>～日本一元気なあいちづくり～

1. 成長する大都市圏づくり

2. 安全・安心な県づくり

3. 魅力的な地域づくり

4. 持続可能な社会づくり

[取組改善]

未来へつなぐ仕組み・土台づくり

(1)DXを推進

(2)働き方改革の推進、担い手の確保

(3)その他取組改善

2 取組期間

2026年度～2030年度（5年間）

3 建設部門が目指す姿

DX推進による業務の合理化（効率化・省力化）・高度化

【1】建設業界の生産性向上

【3】県民サービスの向上

【2】働き方改革の推進

【4】災害対応力向上

4 個別取組事項（50項目）

（ ）：具体的に取り組む内容の項目数

【1】建設業界の生産性向上（24項目）

①質の高い社会インフラの整備（5項目）

- ・i-Constructionの推進（4項目）
- ・生成AI等を活用した技術支援の推進

②維持管理等の高度化・効率化（19項目）

- ・建設部門が保有する各種データの標準化（2項目）
- ・施設台帳の電子化・データの共有（4項目）
- ・IoTやドローンの活用による業務効率化（6項目）
- ・道路の維持管理のDX（6項目）
- ・土木施設の維持管理、点検・診断業務におけるAI活用の検討

【道路の維持管理のDXの活用】

<取組内容>

車両に搭載したカメラ画像から舗装の損傷などの異常をAI解析で自動検知するシステムを導入するとともに、道路パトロールシステムとの連携構築に取り組む。



【2】働き方改革の推進（7項目）

- ・あいち建設情報共有システムの活用
- ・遠隔臨場の活用（2項目）
- ・オンライン申請の活用
- ・生成AI等のデジタル技術を活用した業務効率化
- ・ビジネスチャットの導入活用
- ・ペーパーレス化の更なる推進

【3】県民サービスの向上（14項目）

①行政手続等のオンライン化（7項目）

- ・行政手続のオンライン化（3項目）
- ・収納事務・公の施設におけるキャッシュレス化
- ・特殊車両の通行手続きの迅速化
- ・建築行政のDX（2項目）

②社会問題の解決（7項目）

- ・愛知県オープンデータカタログサイトの利用可能なデータ数の拡大
- ・MaaS等新たなモビリティサービスの普及促進
- ・ITS・交通対策の推進
- ・先端技術を活用した県内自治体のまちづくりの取組促進
- ・都市計画基礎調査のオープンデータ化
- ・市町村の3D都市モデルの整備・活用の支援
- ・空き家利活用者向け相談AIの導入

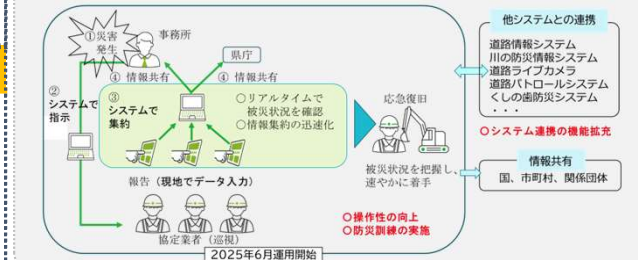
【4】災害対応力向上（5項目）

- ・Web環境を利用した災害情報収集（3項目）
- ・Web環境を利用した防災訓練（2項目）

【Web環境を利用した災害情報収集】

<取組内容>

あいち土木被害情報共有システム(AIDIS)について国等の関係機関のシステムと連携できるよう機能拡充を進め、広域的な早期復旧体制の構築に取り組む。



5 進捗管理指標の設定

デジタル化・DX推進の進捗を確認するため、進捗管理指標を設定する。

進捗管理指標（2030）

項目	内容	数値目標
1	監督業務・検査における遠隔臨場の活用件数（監督業務・検査業務）	415件/年
2	BIM/CIMの活用件数（概略・予備設計業務）	40件/年
3	あいち土木被害情報共有システム（AIDIS）の新規連携件数（他機関・既存システム）	累計5件
4	新たにオンライン化を行う行政手続き数	累計6件